

# 酒田市環境保全実行計画 平成22年度年次報告書

## ■酒田市役所の取組

市役所の事務事業から排出される温室効果ガスの量を削減し、環境への負荷を低減するために「酒田市環境保全実行計画（平成18年3月）」を策定しました。

全施設で省エネに取り組むことで、平成18年度から平成22年度までの5年間の温室効果ガス排出量を平均で5%削減（基準年：平成16年度）することを目標としました。

また、物品等を購入する際に環境に配慮したものを選択する「グリーン購入」を推進しています。

### 酒田市役所の目標

「温室効果ガスの排出量を5%削減します。」  
（基準年：平成16年度）  
「グリーン購入を推進します。」

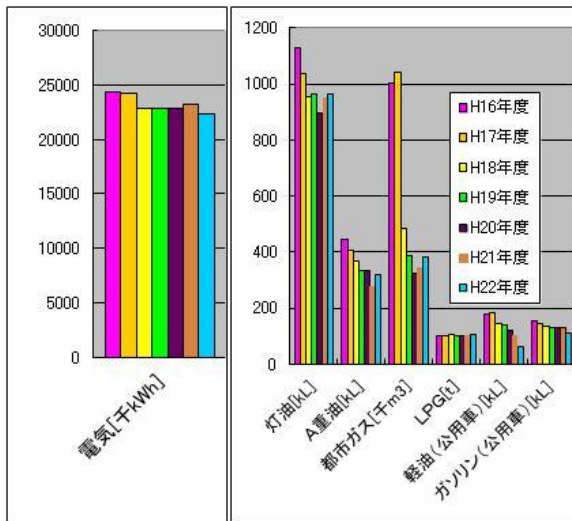
## ■市役所の燃料使用量

平成22年度の市役所の燃料使用量は、平成16年度比で電気が8%、灯油・A重油が14%以上、軽油・ガソリンが26%以上削減されました。

なお、都市ガスについては平成18年度に熱量変更が行われたことで使用量は半減しています。

平成22年度の気候は平成16年度に比べ、夏は特に暑く冬は若干寒い傾向であり、職員や施設利用者の省エネの取り組み効果が燃料使用量の削減につながっています。

市役所の燃料使用量の推移（平成16～22年度）



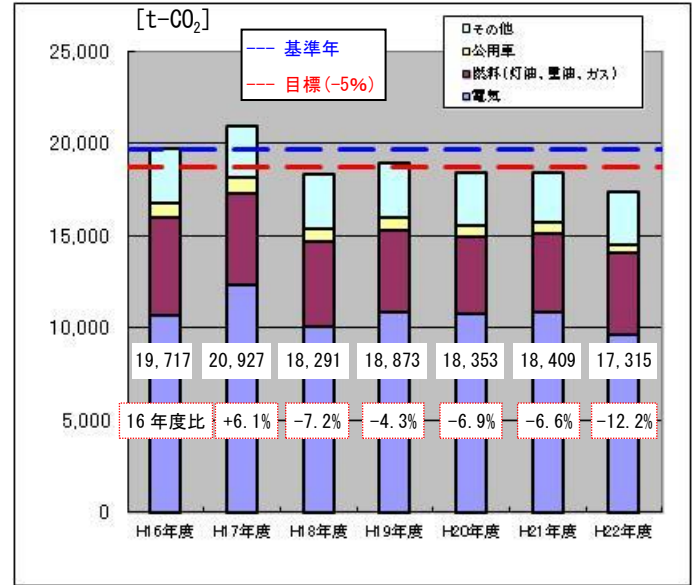
## ■市役所の温室効果ガス排出量

**取組結果**

- ▲ 12.2%（平成22年度）
- ▲ 7.4%（平成18～22の5年間平均）

燃料使用量から温室効果ガス排出量を算定した結果、平成22年度の温室効果ガス排出量は平成16年度と比較して12.2%削減されました。平成18年度から平成22年度の5年間の温室効果ガス排出量平均では7.4%削減されました。

市役所の事務事業から出る温室効果ガス総排出量の推移



## ■今後に向けて

平成18年度から平成22年度までの5年間の温室効果ガスの排出量の削減目標は達成することができました。

ほとんどの施設で排出量が削減されており、市役所全体にエネルギー消費量を減らす活動が身についてきたと思われま。

しかし、昨年の大震災の影響で、温室効果ガス排出量の半数以上を占める電気については、供給量の不足が懸念されており、電気使用量を引き続き抑えていくことが必要不可欠です。そして、気候に左右されやすい燃料の使用についても、クールビズやウォームビズをはじめとした冷暖房に頼りすぎない職場環境作りを推進することで、これまで以上に使用量を抑えていくことが重要です。

また、市役所では平成20年度から省エネ・地球温暖化対策としてゴーヤによる緑のカーテンに取り組んでいます。つる植物の葉が日差しを遮ることにより室内温度の上昇を防ぎ、快適に過ごすことができれば、エアコンなどの使用を控え、エネルギー消費を減らすことにつながります。



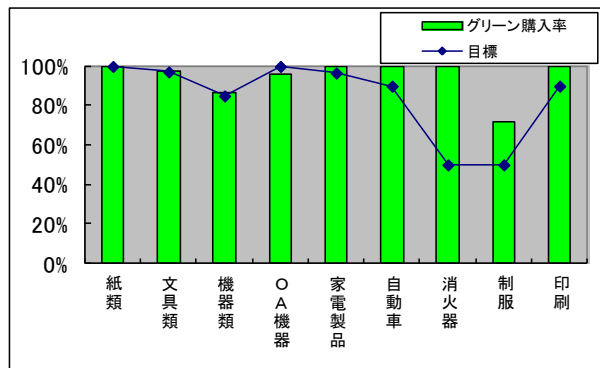
今後ともエネルギー使用量を削減し、環境への負荷の低減に取り組んでいきます。

## ■平成 22 年度のグリーン購入実績

国等による環境物品等の調達方針に倣い、環境に配慮した物品の調達に取り組みました。

全体としての成果は、物品の購入数を基に計算したグリーン購入率で 99.8%となっております。

平成 22 年度 グリーン購入率



今後も次の様な取り組みをしていきます。市民のみならずみなさまにおかれましては、市役所の環境保全に関する取り組みにご理解とご協力をお願い致します。

### ◇電気◇

#### ・照明はこまめに消します

休み時間や時間外など、人のいない時間帯に消します。

#### ・電化製品・OA 機器を適正に使用します

長時間使わない機器は電源を切ります。更に待機電力の削減にも努めます。

### ◇燃料◇

#### ・冷房時の室温は 28℃、暖房時の室温は 20℃

冷暖房に頼り過ぎない職場環境をみんなで作っていきます。

#### ・ガス機器の使い方に気をつけます

ガスコンロを使うとき、やかんなどの大きさに合わせてこまめに調節をします。給湯器を使用する際も、なるべく低温で行います。

### ◇公用車◇

#### ・エコドライブで安全運転を

時間と気持ちにゆとりを持ち、ふんわりアクセルを心がけます。

### ◇環境への負荷低減◇

#### ・ごみの減量とリサイクルの推進

環境にやさしい製品を購入（グリーン購入）することやペーパーレスにより循環型社会の形成を推進します。



## ◇地球温暖化の防止に向けて◇

～私たち一人ひとりが主役です～

地球温暖化を防止するためには、私たち一人ひとりがそれぞれの立場で行動していかなければなりません。

でも、最初から地球のためにがんばろうと考えると、問題が大きすぎて自分がしていることの効果も目に見えないので、長続きするのはなかなか難しいのではないかと思います。

では、例えば省エネならどうでしょうか。これなら自分のお財布にも効果が現れるので、実践したことが実感できます。

### 「やって得する、楽しい省エネ」

省エネは一度始めるとすぐにクセになります。まずははじめの一步を踏み出してみることが大切です。

次の例を参考に、みなさんも一緒に楽しみながら省エネに取り組んでみましょう。

・冷房時の室温は 28℃、暖房時は 20℃を目安に温度調節をこまめにしましょう。

・使わない電気製品は主電源を切る、またはコンセントを抜く。

・照明はこまめに消灯する。

・一家団らんし、みんな同じ部屋で過ごす。

・給湯器の温度設定はなるべく低くする。

・お風呂は家族が時間を空けずに続けて入る。

・エコドライブを心がける。

・緑のカーテンを設置する。

・外出時にはマイバッグやマイ箸を持参する。

・ごみの分別、リサイクルの推進を心がける。



—酒田市環境保全実行計画 平成 22 年度年次報告書—

<お問い合わせ>

〒998-0104

山形県酒田市広栄町三丁目 133 番地

酒田市環境衛生課

TEL: 0234-31-0933 FAX: 0234-31-0932

E-mail: kankyo@city.sakata.lg.jp